

会議名	大野和幸園 運営推進会議	施設長	鷹架	看護師	寺澤	記録者	上野
開催年月日	平成 29 年 9 月 28 日 (木)						
場所	大野和幸園 多目的室	時間	14:00~15:00				
会議出席者名	入居者様御家族1名、入居者様代表1名 一町田和子様(オンブズマン) 砂川照美様(大野地域包括支援センター職員) 鷹架施設長、上野相談員、花田介護リーダー						
議題	1. 施設長挨拶 2. 出席者紹介 3. 入居者様より 4. 入所状況 5. 入所申込み状況 6. 行事予定について 7. 出席者より						
<p>1. 施設長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日は 10 月下旬から 11 月上旬の寒さとなっている。今日から暖房も入れているが、寒暖差が激しい為、温度・湿度に留意しながら、体調管理に努めていきたい。 <p>2. 出席者紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記参照 <p>3. 入居者（横山 きみゑ）様より</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設長「ここでの生活はどうか？」 入居者様「いつもご飯がおいしいです。私は平穩に暮らしています。昔はよくダンスを踊りました。この歳になってやる気がなくなってしまいましたが、今は音楽を聴いて楽しんでいます」 施設長「今後も、楽しみを持って平穩に過ごして頂けるよう努めさせていただきます」 <p>4. 入所状況（平成 29 年 9 月 1 日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期入所→29 床満床（男性 0 名、女性 29 名）平均介護度 4.0 平均年齢 87.5 歳（最高齢者：99 歳、最低年齢者：68 歳） 8 月稼働率 98.3% 9 月 100%の見込み 胃瘻者 1 名（女性 1 名） 短期入所→8 月 1 日平均 9.1 人 利用実人員 15 名（男性 3 名、女性 12 名） 9 月 1 日平均 9.6 人の見込み <p>5. 入所申し込み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 申込待機者 84 名(平成 29 年 8 月 10 日現在) 新規入居申込者 H29 年 7 月 6 名、8 月 6 名、9 月 5 名 							

6. 行事について

7月、8月、9月の行事報告

- ・7/29 ラッセランド見学
- ・7/29 アロマセラピー
- ・8/21 アロマセラピー
- ・9/14 かかしロードドライブ
- ・9/16 アロマセラピー
- ・9/18 敬老祝賀会

10月、11月の行事予定

- ・10/12 消防訓練
- ・10/19 アロマセラピー
- ・未定 紅葉狩り

○相談員より（プロジェクトにて写真紹介）

- ・外出行事として、7/29 ラッセランドへ散策。入居者、ショートステイ利用者合わせて23名の方々にご参加頂いた。青森の馴染みのある行事を、地域のたくさんの方々と触れあいながら過ごすことができた。又ミスター跳人と記念撮影を行う事もでき、大変喜ばれていた。9/14には国道280号線バイパス沿いにあるかかしロードにドライブに出掛けた。「昔とかかしの作り方が変わっている。時代だな」等、思い出話に花を咲かせながら楽しんで頂けた。
- ・9/18 敬老祝賀会を開催。ご家族様も招待し35名の方々へご参加頂くことができた。各ユニットにて、それぞれ長寿のお祝い・表彰をさせて頂いた。最高齢は100歳。お食事は、赤飯とお吸い物に、各種天ぷら、煮物、カレイの焼き魚、ゴマ豆腐、甘味に鶴と亀をモチーフにした練りきり、葛饅頭をご用意。余興では、1階ではひげダンス、なんだろなゲーム、リンボーダンス、マシュマロキャッチを入居者・ご家族様と一緒にいき、楽しむことができた。2階では、職員による恋ダンス・麦畑・バルーンアートを披露、メイクや衣装を工夫し、祝賀会を盛り上げた。

7. 出席者様より

○おおの包括支援センター様

- ・今年から総合事業という形になった。実際は今まで通りの現行相当サービスにつながる方がほとんどという状況の中、健康体操や集いの場を作りながら活動している。縁側事業にも、参加・協力させて頂いているが、包括では認知症カフェを開催。認知症の方だけではなく、地域の方々も対象とし、月1回、若宮会館で開催。参加メンバーは決められてきてはいるが、うわさを聞いて来られる方や、ケアマネージャーが利用者を連れてきて下さる等、新規の方も増えている。先日は輪投げを行い盛り上がっていた。日頃より、地域の方々を中心となって過ごせる場が増えていけばいいなという願いを込めて活動している。包括だけでは十分にできない所もあるので、介護事業所の方や、認知症サポーターとの連携も含め、今後さらに場を広げていきたい。

○入居者ご家族様

- ・先日、敬老会に参加させて頂いた。長寿のお祝いもして頂きありがとうございました。ご馳走を前に、いつにも増して食が進んでおり大変嬉しく思いました。又、部屋に飾られている外出行事の写真などから、充実した日々を送っている様子が伺え、安心しています。

○オンブズマン様

- ・月1回の活動の中、利用者の方々にも徐々に認知されてきていると感じている。施設の職員の方たちも、じっくり座って話をする時間がなかなかとれない現状があり、オンブズマンの役割の一つとして担っていければよいと感じている。
- ・先日、入居者の話の中で、カラオケがとても楽しかったという声が聞かれていた。普段は部屋で過ごすことが多い方も、楽しみの場となっているようであった。七夕の際、短冊にゲームが欲しいと書かれていた方もおり、可能な限り、希望を形にしながら、楽しい表情を引き出していけるような活動を今後も増やしてほしい。
- ・ねぶたのドライブの話があったが、ボランティア等、外部の団体を積極的に活用している事業所もある為、今後取り入れてはどうか。又、毎月アロマセラピーを行っているということであったが、お化粧などをする機会も喜ばれるのではないか。入居者の笑顔の為に、職員の手を多く必要としなくても出来る活動を模索しながら、お互い無理のない範囲で取り組んでいって欲しい。

次回運営推進会議 平成29年11月24日（金）10:30～ 予定